

iPS細胞(人工多能性幹細胞)研究等の加速に向けた 文部科学省の取組状況

平成20年2月

総合戦略(今年度中の緊急支援策部分)

(1)日本全体の研究推進体制の確立

- ・総合戦略策定、「幹細胞・再生医学戦略委員会」の設置
- ・世界トップレベル研究拠点「物質－細胞統合システム拠点(京都大学)」内に、「iPS細胞研究センター」を開かれた拠点として整備
- ・開かれたネットワーク組織としてiPS細胞研究センターを中心とした「iPS細胞研究コンソーシアム」を組織化

(2)iPS細胞研究の加速

- ・戦略的創造研究推進事業の既存研究活動の加速を支援
- ・当面の新たな研究スペースを確保
- ・特別シンポジウムの開催により、研究者ネットワークを拡大

(3)iPS細胞等を用いた再生医療実現に向けた研究加速

- ・「再生医療の実現化プロジェクト」の公募を早急に開始

(4)iPS細胞の利用の円滑化

- ・原則無償提供等、iPS細胞研究コンソーシアム内におけるiPS細胞の利用体制の構築

(5)iPS細胞に関する特許の確保

- ・出願中の特許の強化に向けた追加出願や、海外特許の確保等を実施

これまでの対応状況

(1)日本全体の研究推進体制の確立

- ・文部科学省が、総合戦略決定、戦略委員会設置(12月22日)、戦略委員会を開催(1月10日)
- ・京大がiPS細胞研究センターを設置(1月22日)
- ・関係研究者間で、iPS細胞研究コンソーシアムの発足に向けた検討開始

(2)iPS細胞研究の加速

- ・JSTが戦略的創造研究推進事業の既存研究活動に対して研究費を追加支援(12月)
- ・JSTが京都に新たな研究スペース(600平米)確保に向けて準備中
- ・特別シンポジウム(約850名参加)を京都で開催(12月25日)
- ・JSTが戦略的創造研究推進事業(CREST、さきがけ)の公募を開始(1月28日)

(3)iPS細胞等を用いた再生医療実現に向けた研究加速

- ・文部科学省が、「再生医療の実現化プロジェクト」の公募を開始(1月17日)

(4)iPS細胞の利用の円滑化

- ・京大においてiPS細胞の円滑な利用体制について検討開始

(5)iPS細胞に関する特許の確保

- ・文部科学省が特許確保等に関する追加支援を実施(12月)
- ・JSTが特許専門家1名を京都大学に派遣(12月)